

## <香川県内の経済動向> (平成 29 年 11 月 16 日作成)

**現在の景気**：緩やかな回復を続けている。

**3 か月程度の見通し**：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

**個人消費**：基調的には持ち直している。

9 月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 0.2%減と 10 カ月連続で減少。店調後は前年比 0.2%増と 5 カ月ぶりに増加。9 月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）0.6%増と 2 カ月連続で増加。9 月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）0.4%減と 3 カ月ぶりに減少、ドラッグストアが同 6.7%増と 30 カ月連続で増加、ホームセンターが同 11.3%増と 3 カ月ぶりに増加。9 月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 3.2%増、小型乗用車で同 1.8%増、軽乗用車で同 3.7%と増加し、全体では前年比 3.0%増と 11 カ月連続で増加。

**住宅建築**：基調的には持ち直している。

9 月の住宅着工戸数は、持家で前年比 6.6%減、貸家で同 59.2%減、分譲住宅で同 21.2%と減少し、全体では前年比 32.2%減と 6 カ月ぶりに減少。

**設備投資**：持ち直しの動きがみられる。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017 年 9 月）-香川県-」における 2017 年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比 21.4%増加見込み。

**公共工事**：振れを伴いつつも高水準で推移。

9 月の公共工事請負額は、県で前年比 8.1%と増加したものの、国・独立行政法人等で同 69.8%減、市町で同 25.1%と減少し、全体では前年比 31.6%減と 2 カ月連続で減少。4~9 月の年度累計では前年比 18.5%減少。

**輸出**：底堅く推移。

9 月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶の輸出額が 0 となったことから、全体では前年比 62.2%減と 3 カ月ぶりに減少。1~9 月の累計では前年比 5.7%増加。

**生産活動**：振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きがみられる。

8 月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 5.4%低下し、98.4 と 3 カ月ぶりに低下。原指数は、前年比 3.3%低下し 92.2 と 2 カ月ぶりに低下。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽・ころ軸受）、非鉄金属工業（電気銀・電気金）などで低下。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、金属製品工業（アルミニウム建具・鉄骨）などで上昇。

**観光**：堅調に推移。

9 月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 7.8%増と 7 カ月連続で増加。1~9 月の累計では前年比 7.8%増加。

**雇用情勢：好調に推移。**

9月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.04ポイント低下の1.70倍。新規求人数（原数値）は、卸売業、小売業、医療、福祉等で減少し、全体では前年比1.1%減と2カ月ぶりに減少。

**（トピックス）**

○歴史的建築物などの保存に取り組む米国の非営利団体「ワールド・モニュメント財団」（WMF、本部ニューヨーク）は10月16日、25カ所の「危機遺産」リスト（2018年版）を発表した。リストは緊急に保存・修復などの措置が求められる文化財を認定するもので、日本からは世界的な建築家、故丹下健三氏が設計し、老朽化のため閉館した香川県立体育館（高松市）が選ばれた。船のような独特なデザインの県立体育館は64年に完成。老朽化により屋根が落下する可能性などが指摘され、県は改修を検討したが、2014年に断念した。以降、県内の建築家や保存グループが保存環境を整備しようと活動を続けていた。17年2月、日本建築家協会香川地域会「現代建築保存再生委員会」が、「世界に向けて保存支援の必要性を訴えたい」として同財団に登録を申請。同財団は、意匠や構造形式などにおいて日本のモダニズム建築として価値が高いとしてリストに登録した。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					